

子どもの立場全国フォーラム 第3回研修会「コミュニケーションゲームをして交流を深めよう！」

主催：精神疾患の親を持つ子どもの会・こどもぴあ、朝日新聞厚生文化事業団

運営メンバーで、皆さまからいただいたアンケートをもとに振り返ってみました！

< アンケート①: 「本日の内容はいかがでしたか」 >



< アンケート②: 参加者の声・感想 >

- ・皆さんそれぞれの状況や気持ちを教えていただくことで、とても共感できました。寄り添ったコミュニケーションでそのままの自分で参加でき、とてもありがたい時間でした。
- ・ビブリア風バトルは初めての経験だったが、ほんと良かったです。
- ・みんなが笑顔で聴いたり話し合える会の雰囲気がとても良かったです。さすがこどもぴあですね。
- ・5分という比較的長い時間でお互いの経験を話すことができ、よかったです。よく会う人でも、お互いの経験について細切れの知識しかありませんので。
- ・自助グループの出会いが通過点であり、お一人お一人揺らぎの中で歩まれていることを感じました。
- ・グループの皆さんが、自分の経験してきたことや自助グループとの出会いを、自分自身の言葉で包み隠さず本音で話している感じが伝わってきて、とても温かい気持ちとなりました。
- ・普段は運営側にいるのですが、この子どもの立場全国フォーラムやこどもぴあさんのつどいでは、ありのままの自分として参加させてもらっています。自分が思っていること、感じていることは、誰に否定されることなく、「このままでいいよね」と感じさせてくれる雰囲気は、最高だなと思いました。また、「テーマはあるけど、(ルールを守って)自由に話してね」という雰囲気で進行されていたように感じています。もっと話したいと思う人も、話過ぎたかなと感じる人も、最後には「やっぱり参加してよかった」と思える時間でした。本当にありがとうございました。
- ・始まるまでは緊張しましたが、素晴らしい会に参加できて心から感謝しています。自分の人生や自助グループとの関りについて、客観的に紹介するのは貴重な体験でした。ゲームの要素があることで硬くなりすぎず、和やかな雰囲気にも救われました。発表というと、私は「上手くできたかどうか？」に囚われがちなのですが、今回はゲームなので、「全員に称賛される必要はない」と本気で思える気楽さがありました。ほかの方々の発表は、濃密な5分間の連続でした。皆さんそれぞれの持ち味があり、それぞれに素晴らしかった。本当に勉強になりましたし、皆さんのことが知れて嬉しいです。準備・運営に携わってくださった皆様、本当にありがとうございました。
- ・5分間と比較的長くお一人お一人のお話を詳しくお伺いすることができて、雰囲気も素晴らしいと感じました。コーダについては全く不勉強でしたが、今回お話をお伺いできてとても良かったです。精神障害の親の子どもの立場とも共通するところが多くあり、色々と考えさせられました。
- ・お一人お一人の事をまた、少し知ることができ、交流もより深い時間だったと思います。

< アンケート③: 「話し方、聴き方で、今後活かせそうなことがありましたか?」 >

- ・限られた時間(5分)の中で、人の心に響くような伝え方をされている方ばかりでこうした話し方をしたいなあと思いました。
- ・発表が終わったら良かった感想をいうというのが、自信につながった。
- ・本当の気持ち(本音)は胸を打つんだなと感じました。それだけに、自分の本心を探ること、そして、それを聞き手に伝えるように言葉にすることが大切だと感じました。最後のまとめでお聴きした、「体験はそれぞれに違うもの。だから、謙虚な聞き手でありたい」このことは、胸に刻みたいです。

< アンケート④: 「今後学びたいことや、仲間と意見交換したいことは?」 >

- ・発表されている方の話の聴き方や質問の仕方のスキルを学びたいと思いました。(深掘りしすぎない質問の仕方、相手が話したくないことまで話してしまわないように)
- ・小学校、中高生世代の子ども、若者との接し方(自身の体験を話しながら)
- ・いわゆる、「生きにくさ、生きにくい性格」に関心があります。例えば「いい人過ぎてしまう」というようなことは、こどもの立場では「あるある」のでしょうか? 親とは無関係の、家の外でも出てくる自分の心の癖が、立場によって共通のものなのか、興味があります。

振り返り編

子どもの立場全国フォーラム

第3回研修会「コミュニケーションゲームをして交流を深めよう！」



アンケート②より 5分という比較的長い時間でお互いの… >>> 限られた時間の中で、みなさんが「伝えたいこと」を優先して話してくれた様に思います。一人にスポットライトを当てて話を聞くことでストーリーが見えてきて、つどいとは違った「深さ」でしたね。

アンケート④より いわゆる、「生きにくさ、生きにくい… >>>

自分よりも相手（親など）を優先していたことの弊害はあると思います。「いい人＝相手に合わせる人＝相手にとって都合のいい人」な面もあると思います。他にも、言葉では表現されていない相手の感情や気持ちを「想像し過ぎてしまう」のも良い面でもあり苦労する面かと。私は社会に出て自分の不器用さに気づきました。

今回はピアグループとの繋がりというテーマがありましたが、単に一人一人の体験談を話すようにしたらよいと思います。私は他の人の体験談を聞くことが、自分の経験を理解するために一番効果があると思っています。 >>> おっしゃる通り、体験談に勝るものはないと思っています。安心して体験を語れる様に、これからも皆さんと関係を築いていきたいです。



アンケート③より 本当の気持ち（本音）は胸を打つんだ… >>> 素敵な感想をありがとうございます。たくさんの言語にならない感情があって。仲間の話から気持ちや言葉を見つけていけるなと思いました！私も日々謙虚に模索していきたいと思っています。ありがとうございます。

アンケート④より 小学校、中高生世代の子ども、若者… >>> 私も子どもと接する機会が少なく、子どもや若者との接し方、同じく考えていきたいです。案をありがとうございます！

主に進行する人とサポートに入る人の役割や波長が合っていると感じました。リーダーだけが回そうとするのではなく、コリーダーとのリズムを合わせることで、居心地のよさを作る秘訣なんだ…と感じました。今後活かしていきたいです。 >>> グループの場にリーダーだけでなくコリーダーがいることで安心感が広がりやすくなりますよね。そのためにも、チームワークが本当に大切ですね。学びのシェア、嬉しいです。



みんなが笑顔で聴いたり話し合える会の雰囲気がとても良かったですがこどもびあですね。… >>>

ありがとうございます。普段は話せない内容でも、スッと話せるのがピアの織りなす不思議なパワーだと思っています。これからも、その雰囲気が作れるように頑張りたいと思います。

アンケート④より 普段は運営側にいるのですが、この子どもの立… >>>

ときどき参加者として参加すると、再確認や再発見があり、それがまた運営側スタッフとしての良いスパイスになって、より深みが増して本当にいい機会になると思っています



アンケート④より 小学校、中高生世代の子ども、若者… >>> どこにいても公式や正解というものはないと思いますが、その子が話したい時に話せる存在でありたいですね。ある教育者は観察が大事だといっていました。積極的に関わったりコミュニケーションをとることも大事ですが、見守り、ありのままを知って行く作業も大事だなと思っています。

2022年度子どもの立場全国フォーラム（全3回）を振り返って

昨年度から始めて2年目のこの企画。どんな内容がいいのか、参加しやすく、学びになるもの、楽しめるもの…などなど話し合いながら内容や構成を考えてきました。参加後にいただいたアンケートから内容を練ったりと、参加してくれた方の一言一言が励みになり次の会につながってきました。

1回目は「聞いてみよう！他団体の取り組み」というテーマでSODAの会、コーダえん、ケアラーアクションネットワーク協会（CAN）、こどもびあの4団体からそれぞれの団体の取り組みなどのお話をいただきました。団体が生まれた背景や、工夫している仕組みづくりなど、もっと聞いてみたいお話がたくさん。楽しかったです！

2回目は「グループ運営で大切なポイントをみんなで体験しよう！」というテーマで家族支援のSSTなどを行っている土屋先生を講師にお招きしました。ユーモア溢れるお話は、ためになることばかりでした！

3回目は「コミュニケーションゲームをして交流を深めよう！」というテーマで、こどもびあの仲間でもあり様々な場でファシリテーターの経験のある丸藤さんに進行をお願いして、コミュニケーションゲームを行いました。一人一人の自助グループとの出会いや想いを話して聞く機会となり、すごく貴重な時間となりました！

来年度も楽しい企画を考えながら、団体を越えて支え合うことができるピアサポートの場を目指していきたいです。これからも、気軽にご参加していただくと嬉しいです！！（こどもびあ・小林）